

水稻生育情報 (No.6)

令和4年7月26日
茨城県西農林事務所経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)

【生育概況】

5月から7月第4半旬までの気象は、平均気温が平年よりやや高く推移し、降水量は平年比96%、日照時間は平年比109%でした。

管内の水稻定点圃場の「コシヒカリ」の生育状況は、草丈は平年並み、茎数は平年並み～やや多く、葉色は平年並み～やや淡くなっています。出穂予測日は、平年比-2日～+1日であり、概ね過去5カ年と同等です。

表1 水稻定点調査結果(7月20日現在:コシヒカリ)

調査地点	田植日 (月日)	植付株数 (株/坪)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (葉色板) (SPAD値)		幼穂長 (mm)	出穂予測日 (月日)
筑西市	5月5日	61	94	408	3.6	32.7	134	7月29日
一本松	(5月3日)	(51)	(94)	(437)	(4.0)	(33.6)	-	(7月28日)
下妻市	4月30日	48	96	506	3.5	30.7	200	7月24日
加養	(5月1日)	(47)	(97)	(460)	(3.5)	(33.5)	-	(7月25日)
桜川市	5月4日	51	95	450	3.2	31.2	159	7月28日
真壁町飯塚	(5月5日)	(52)	(94)	(461)	(3.6)	(32.6)	(118)	(7月30日)

※()内は平成29～令和3年の5カ年平均値

※出穂日は今後の天候により前後する場合があります。

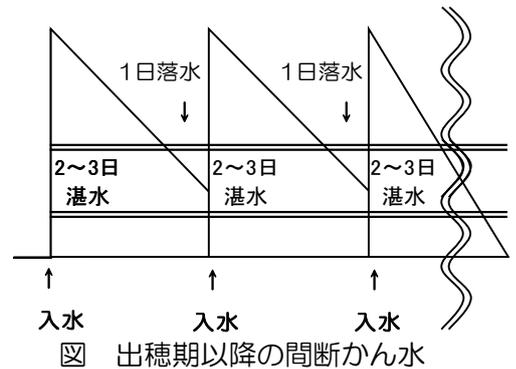
【これからの栽培管理のポイント】

• 乳白粒発生を軽減するための水管理について

高温登熟による乳白粒、胴割粒等の発生を防止するため、間断かん水を実施しましょう。出穂期以降の間断かん水は右図のように入水と自然落水を交互に繰り返します。

出穂してから最低30日間は間断かん水を行い、イネの根に水と酸素を供給して下さい。

入水時期の目安は、田面に触れると「湿り気を感じる程度」から「水が付着する程度」です。田面が乾きすぎないように十分注意しましょう。



• 適期収穫について

早刈りは千粒重が軽くなり、収量を低下させるとともに、玄米への青未熟粒の混入割合が増えて、落等要因となることがあります。逆に刈り遅れは胴割粒などの被害粒や茶米・着色粒の発生が増えて、早刈りと同じく落等要因になりえます。適期収穫を心がけましょう。

ほ場で直接籾の色(帯緑籾率)を確認して適期収穫に努めて下さい。収穫適期は帯緑籾率が10%頃から5日間です。



コシヒカリの帯緑籾率と成熟期前日数

帯緑籾率 (%)	成熟期前日数
55	11
30	6
25	4
20	4
15	2
12	1
10	成熟期(収穫適期)